

Universal Serial Bus Interface External Floppy Disk Drive Unit

カラーカバー交換モデルおよび標準モデル

USB FDD



ユーザーズマニュアル

For USB FDD Driver CD-ROM P/N 139060-02 Rev. C

Copyright © 1999-2001 Y-E Data, Inc. All Rights Reserved.

149259-01 Rev. A

USB FDD ご使用上の重要なご注意

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ■ USB FDD をパソコンに接続する前に、本マニュアルに目を通してください。接続前にドライバソフトをインストールする必要がある場合があります。 ■ USB FDD のUSBケーブルを抜き差しするとき、本体パソコンの電源をオンオフする時は、あらかじめ全てのメディアを取り出してください。 ■ 本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えたり、振動の激しい場所に置いたりしないで下さい。故障の原因となります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解、改造はしないでください。故障、火災、感電の原因となります。 ■ 水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。本製品内部に液体がはいると、故障、火災、感電の原因となります。 ■ フロッピーディスク以外は、挿入しないでください。硬貨、クリップなどの金属片を差込みますと、故障、火災、感電の原因となります。 ■ ドライブユニットのランプが点灯している状態で、メディアを取り出さないでください。 ■ 本製品は、一般的電器機器に使用されることを意図して設計されております。故障や誤動作が、人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある特別な品質、信頼性を要求される装置（航空宇宙機器、原子力制御システム、交通機器、輸送機器、産業ロボット、燃焼機器、各種安全装置、生命維持装置等）には、使用しないで下さい。

VCCI に基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

その他のご注意

本製品使用中に、本製品やフロッピーディスク、などの事故、故障などにより記録データの破壊、消失が生じた場合の損害については補償いたしかねます。また、本製品の使用により、お客様のご期待に添わない結果となった場合にも、その結果につきましては責任を負いかねます。

本説明書に記載して説明図は、実際のパソコンの画面と異なることがあります。

Adobe、Acrobat ロゴは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
 Apple、Mac、Macintosh は、Apple Computer 社の登録商標です。
 Microsoft、MS、Windows、および Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 Morisawa Font は、株式会社モリサワの登録商標です。
 Y-E Data は、株式会社 ワイ・イー・データの登録商標です。
 その他、本書に記載されている会社名、製品名は、パソコンの機種名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

目次

1. 概要	4
1.1. USB FDD の特徴	4
1.2. 動作環境	4
1.3. 各部の名称（カラーカバー交換モデルの場合）	5
1.4. 各部の名称（標準モデルの場合）	5
1.5. 付属品	5
1.6. インストール方法の概要	6
2. Macintosh	7
2.1. インストール方法	7
2.2. 手動でインストール、アンインストールする場合	9
2.3. 操作方法	9
2.4. PACE Anti-Piracy's USB Floppy Enabler (MORISAWA FONT)	11
2.5. Macintosh での制限事項	12
3. Windows 98 および Windows 98 Second Edition	13
3.1. インストール方法	13
3.2. USB FDD をドライブ(A:)でお使いになる場合（オプション設定）	16
4. Windows Millennium Edition (Me)	18
4.1. インストール方法	18
4.2. USB ケーブルの取り外し方法	18
5. Windows Millennium 2000	19
5.1. インストール方法	19
5.2. USB ケーブルの取り外し方法	19
6. Windows 98, Windows Me 及び Windows 2000 での制限事項	20
7. Windows CE	21
7.1. Windows CE サービスを使ったインストール方法	21
7.2. インターネットから直接ドライバファイルをダウンロードする方法	23
7.3. フロッピーディスクのフォーマット	24
7.4. Windows CE での制限事項	25
8. カラーカバーの交換方法	26
8.1. カラーカバーの取り外し方法	26
8.2. カラーカバーの取り付け方法	26
9. 仕様	27
9.1. 使用温度範囲	27
9.2. 使用湿度範囲	27
9.3. 動作時の姿勢	27
9.4. サポートするフロッピーディスク (3.5 inch)	27
10. 技術サポートの問い合わせ先	27

1. 概要

USB FDD は、Universal Serial Bus (USB)インターフェースの薄型フロッピーディスクドライブで、パーソナルコンピュータの USB ポートに接続して使用します。ご使用になるには、お使いのパーソナルコンピュータに、USB ポートが装備されていること、お使いの OS が USB をサポートされていること、USB FDD 用のドライバソフトウェアがインストールされていることが必要です。USB FDD には、カラーカバー交換モデルと、標準モデルの 2 モデルがありますが、ケースの形のみの違いです。

1.1. USB FDD の特徴

- 1) ドライバソフトウェアをインストール後は、パーソナルコンピュータを再起動することなく、USB FDD を接続したり取り外したりすることが出来ます。
- 2) Macintosh, Windows 98, Windows Me, Windows 2000 及び Windows CE と幅広い環境でお使いになれます。
- 3) AC アダプタは不要ですので、モバイル環境でもお使いになれます。
- 4) カラーカバー交換モデルでは、好きな色のカバーへ交換することが出来ます。

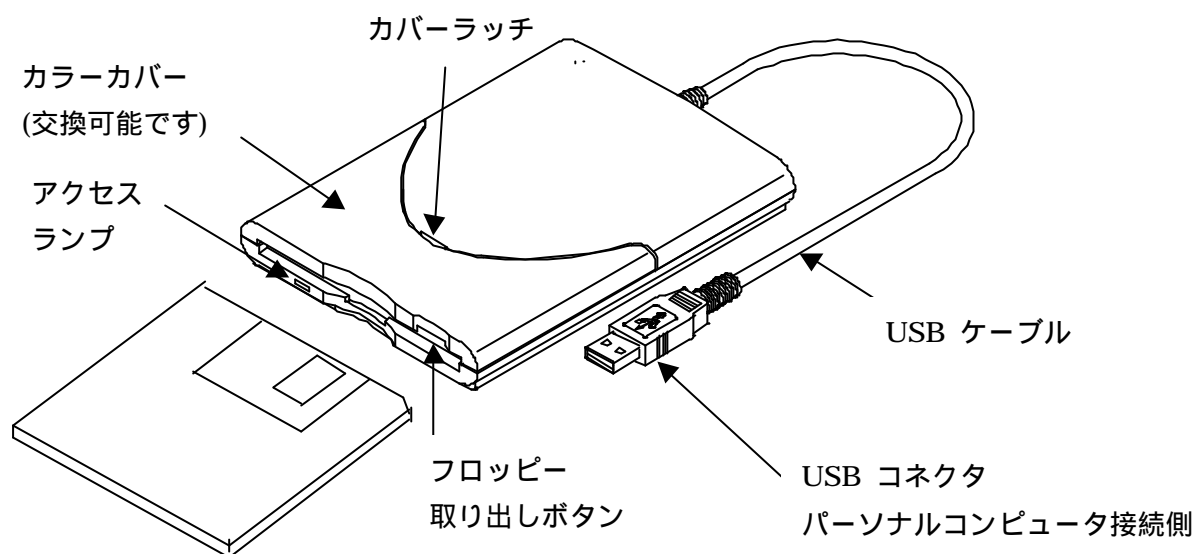
1.2. 動作環境

Macintosh	Mac OS 8.6 Mac OS 9.0 Mac OS 9.0.4 Mac OS 9.1	iMac Power Mac G3 / G4 Power Book G3 / G4 iBook
Windows	Windows 98 Windows 98 Second Edition (SE)	
	Windows Millennium Edition (Me) Windows 2000	Windows に組み込まれている標準ドライバで動作します。
Windows CE	Windows CE 2.11 (H/PC Pro 3.0)	ARM、MIPS、SH4 プロセッサに対応しています。

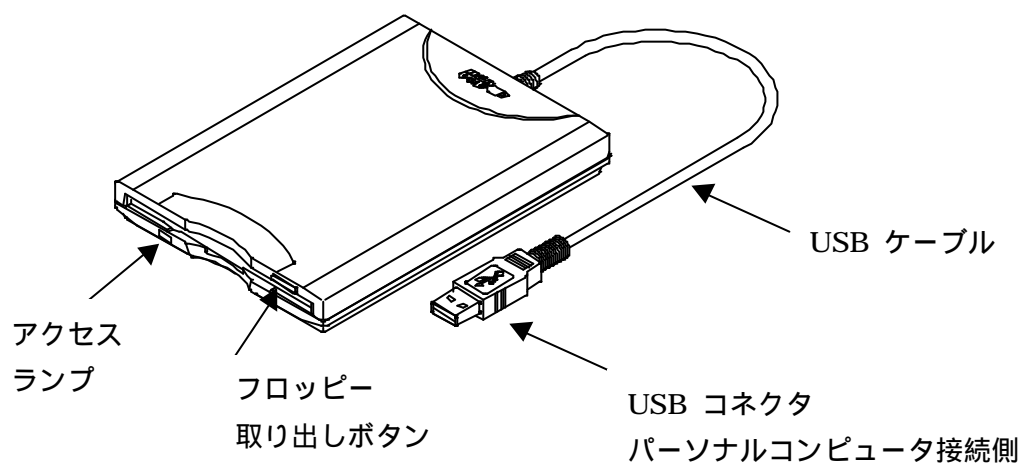
ご注意

- 1) USB FDD は、Mac OS 8.1 および Mac OS 8.5 では動作しません。お使いになるには、Mac OS 8.6 以降の Mac OS にバージョンアップしてください。
Mac OS のバージョンアップについては、以下の Apple Computer 社のサイトをご覧ください。
http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/macOS8.6_update.html
- 2) Apple Computer 社によると Mac OS 9.0.2 および Mac OS 9.0.3 では、フロッピードライブなどの USB 装置を接続すると、コンピュータはシステム起動時に応答しなくなる場合があります。Mac OS 9.0.4 以降にバージョンアップして下さい。この情報についての詳細は、以下の Apple Computer 社の Tech Info Library ID25139JC をご覧ください。
<http://til.info.apple.co.jp/cgi-bin/WebObjects/TechInfo.woa/1/wa/showTIL?id=25139JC>

1.3. 各部の名称 (カラーカバー交換モデルの場合)



1.4. 各部の名称 (標準モデルの場合)

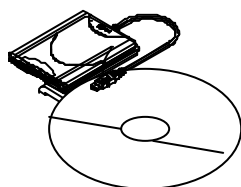


1.5. 付属品

USB FDD 本体

ドライバ CD-ROM

交換用カラーカバー



カラーカバー交換モデルのみに、付属しています。

1.6. インストール方法の概要

OS	説明	参照ページ
Macintosh Mac OS	USB ケーブル接続前にインストールが必要です。 1) ドライバ CD-ROM のインストーラ "USB-FDD Installer" を実行します。 2) インストール後、Macintosh を再起動します。 3) USB FDD を接続して、フロッピーディスクを挿入すると、デスクトップ上にフロッピーディスクのアイコンが現れます。	ページ 7
Windows 98 Windows 98 SE	USB ケーブル接続前にインストールが必要です。 1) ドライバ CD-ROM のインストーラ "USBFDD.exe" を実行します。 2) インストール後コンピュータを再起動します。 3) USB FDD を、Windows PC に接続すると、Windows は、USB FDD を認識して自動的に新しいハードウェアの設定を行います。 4) 新しく、3.5 インチ FD のアイコンが、マイコンピュータフォルダに現れます。	ページ 13
Windows Me	USB ケーブルを接続すると自動認識されます。 1) USB FDD は、Windows Me に組み込まれている標準ドライバで動作します。従いまして、ドライバ CD-ROM は使用しません。 2) USB ケーブルを Windows Me PC に接続して下さい。Windows に自動的に認識されて、すぐお使いになれます。 3) 新しく、3.5 インチ FD のアイコンが、マイコンピュータフォルダに現れます。	ページ 18
Windows 2000	USB ケーブルを接続すると自動認識されます。 1) USB FDD は、Windows 2000 に組み込まれている標準ドライバで動作します。従いまして、ドライバ CD-ROM は使用しません。 2) USB ケーブルを Windows Me PC に接続して下さい。Windows に自動的に認識されて、すぐお使いになれます。 3) 新しく、3.5 インチ FD のアイコンが、マイコンピュータフォルダに現れます。	ページ 19
Windows CE	USB ケーブル接続前にインストールが必要です。 1) ハンドヘルド PC と Windows ホストコンピュータをケーブル接続して、Windows CE サービスを起動して、データ交換が出来る状態にして下さい。 2) ドライバ CD-ROM をホストコンピュータに挿入して、WINCE フォルダを開いてください。 3) WINCE フォルダの "Setup.exe" を実行してください。 4) USB FDD を、ハンドヘルド PC に接続して、フォーマット済みのフロッピーを挿入してください。フロッピーは、マイハンドヘルド PC フォルダ内のメモ리카ードとしてアクセスできます。	ページ 21

2. Macintosh

2.1. インストール方法

最初に、Macintosh にドライバソフトウェアをインストールする必要があります。インストールする前に、USB FDD を Macintosh に接続しないようご注意ください。

Mac OS 9.0 以降をお使いの場合は、Mac OS に標準で組み込まれている Apple 社製の "USB Mass Storage Support" Driver でも動作しますが、パフォーマンスなどをチューニングしてある、CD-ROM 内のドライバをお使いなることを、お勧めします。

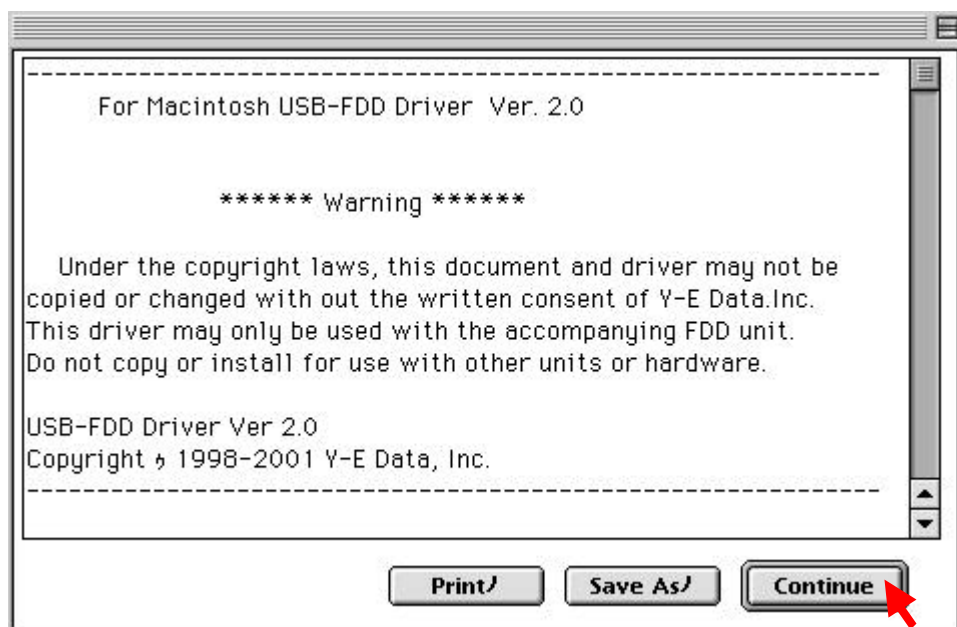
- 1) Macintosh の CD-ROM ドライブに、ドライバ CD-ROM を挿入してください。
- 2) CD-ROM のウィンドウが自動的に開きます。もし、自動的に開かない場合は、CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
- 3) インストールソフトウェア "USB-FDD installer" をダブルクリックして起動してください。



- 4) インストーラの起動画面が出ますので、**OK** ボタンをクリックして次に進めて下さい。



- 5) 次に、ソフトウェアの使用条件等の説明が出ますので、目を通してから、**Continue** ボタンをクリックして下さい。



- 6) **Install** ボタンをクリックしてインストールを開始してください。インストール先を起動したハードディスクと別なハードディスクに変更する場合は、**Switch Disk** ボタンをクリックして、インストール場所を目的のハードディスクに変更してから、**Install** ボタンをクリックして下さい。



- 7) 下記画面が表示されれば、インストールが正常に終了しました。**Restart** ボタンをクリックして、Macintosh を再起動してください。



- 8) 再起動後、USB FDD の USB ケーブルを、Macintosh 本体の USB ポートに接続して下さい。
- 9) USB FDD にフォーマット済みのフロッピーディスクを挿入しますと、デスクトップ上に、フロッピーのアイコンが現れて、アクセス可能になります。



フロッピー
アイコン

2.2. 手動でインストール、アンインストールする場合

- 1) インストールは、ドライバファイル"YE USB-FDU", "YE USB-FDU Shim"を、システムフォルダ内の機能拡張フォルダにコピーすることで行えます。コピー後、Macintosh を再起動してください。
- 2) アンインストールは、機能拡張マネージャを用いて、システムフォルダ内のドライバファイル"YE USB-FDU", "YE USB-FDU Shim"を停止にして下さい。

2.3. 操作方法

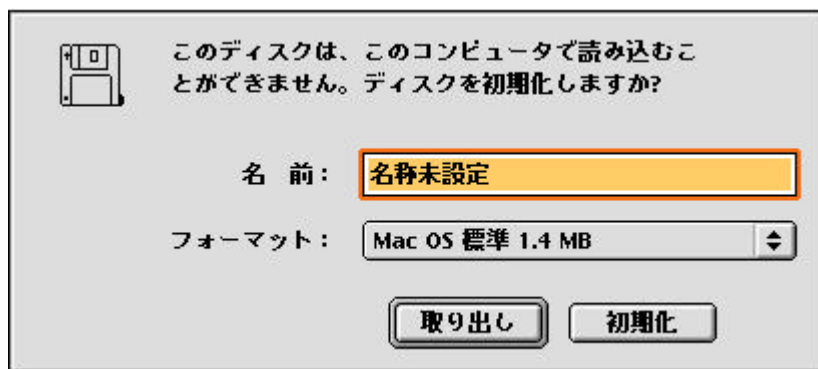
- 1) メディアの挿入(マウント)

USB FDD へ、フロッピーディスクを挿入すると、デスクトップ上に、フロッピーディスクのアイコンが現れて、アクセス可能になります。



フロッピー
アイコン

初期化されていないか、認識出来ないフォーマットのフロッピーディスクが挿入されると、以下のような表示になります。



初期化を行っても良い場合は、**初期化**ボタンをクリックして初期化してください。通常は、**取り出し**ボタンをクリックしてから、ディスクを取り出してください。

2) フロッピーディスクの取り出し（アンマウント）

重要：本装置は、ドアロック機構や、オートイジェクト機構は付いておりません。メディアを取り出す時は、下記のアンマウント操作を行って、デスクトップ上からアイコンが消えたことを確認してから、行ってください。

アンマウント操作

アンマウント操作は、メディアをドラッグしてごみ箱にドロップ（メディアのアイコンをごみ箱の上に重ねて、ごみ箱が黒く反転表示になってから、マウスボタンを離す操作）するか、メディアのアイコンをクリックしてから、ファインダーの「特別」メニューから「取り出し」を選ぶことで行います。



アンマウント動作を行わないまま、いきなりメディアを取り出しますと、ハングアップしたり、フロッピーディスクのデータが壊れることがあります。

3) USBケーブルの接続と取り外し

USBケーブルの接続は、必要になった時点で自由に行えます。USBケーブルの取り外しは、2)の説明に従って、予めフロッピーディスクをアンマウントしてから、行ってください。フロッピーディスクをアンマウントしないまま、USBケーブルを抜きますと、ハングアップや、メディアのデータが壊れることがあります。

4) スリープ

本装置は、Macのスリープに対応していますが、出来るだけ、スリープ前にフロッピーディスクのアンマウント操作を行うことをお勧めします。また、お使いのMac OSのバージョンやMacの種類によって動作に支障がある場合があります。この場合は、スリープ前に、全てのメディアのアンマウント操作を行ってから、USBケーブルを取り外

してください。

スリープ中は、メディアの挿入や取り出し、USB ケーブルの抜き差しは行わないようにしてください。

特に、ノートブック型の Mac では、スリープ中に USB ケーブルの抜き差しを行うと自動的にウェイクアップする為に、意図しない電池の消耗や、ハードディスクの起動が発生しますので、持ち運び時には、必ず、全メディアをアンマウントしてから、USB ケーブルを取り外して下さい。

2.4. PACE Anti-Piracy's USB Floppy Enabler (MORISAWA FONT)

本 USB FDD は、米国 PACE Anti-Piracy's 社の USB Floppy Enabler Ver 2.0 以降をサポートしています。USB Floppy Enabler をインストールすると、MORISAWA FONT などの Pace 社の Interlock 技術にてプロテクトされたソフトウェアをインストール出来ます。

USB Floppy Enabler についての詳細は PACE Anti-Piracy 社の Web サイト

<http://www.paceap.com> をご覧下さい。

MORISAWA FONT の詳細については、以下のモリサワの Web サイトを参照ください。

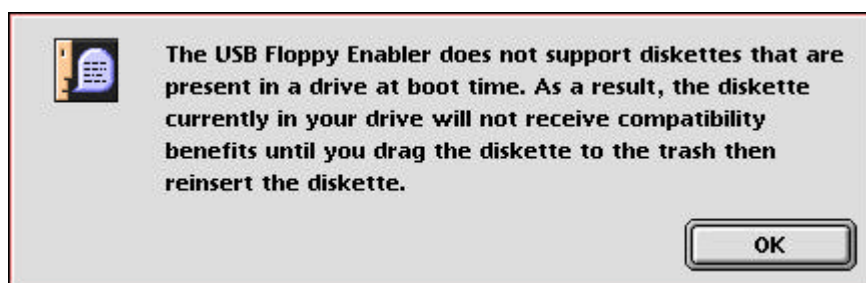
<http://www.morisawa.co.jp/fonts/fontsj.html>

PACE USB Floppy Enabler が必要な場合は、以下の手順に従ってインストールして下さい。

- 1) ドライバ CD-ROM を、Macintosh に挿入してください。
- 2) PACE ANTI-PIRACY フォルダを開いてください。
- 3) USB Floppy Enabler Installer のアイコンをダブルクリックしてインストールしてください。

USB Floppy Enabler をインストールした時のご注意

- 1) フロッピーディスクを挿入したまま、Mac OS を起動しますと、以下の警告メッセージが出る場合があります。Mac OS 起動時には、フロッピーディスクを取り外してから起動するようにして下さい。



- 2) モリサワフォントなど、USB Floppy Enabler が必要なソフトのインストールが終了しましたら、コントロールパネル内の機能拡張マネージャを使って、"USB Floppy Enabler"を停止するようにして下さい。

2.5. Macintosh での制限事項

- 1) 2DD 800KB Mac フォーマットのフロッピーディスクは本 USB FDD では読み書きできません。
- 2) ProDos 1.4MB フォーマットのディスクは、サポートしていません。初期化（フォーマット）画面で、フォーマットのメニューに表示されますが、選択しないで下さい。
- 3) 本装置は、オートイジェクト機構が付いていません。フロッピーを取り出す時は、アンマウント操作を行ってから、手動で USB FDD の取り出しボタンを押して、フロッピーディスクを取り出してください。
- 4) USB FDD から、Macintosh は起動（スタート）出来ません。
- 5) CD-ROM のドライバソフトウェアのライセンスは、付属の USB FDD ユニット専用です。他の USB FDD には、お使いにならないで下さい。
- 6) インストールにフロッピーディスクを複数使用するアプリケーションで、Macintosh 内蔵のフロッピーディスクのオートイジェクト機構を直接操作するものが一部に見受けられます。このようなアプリケーションは、USB FDD では正しく動作致しません。
- 7) 違法なコピーを禁止する目的で、USB FDD では取り扱えないフロッピーが付属しているアプリケーションがあります。アプリケーションをご購入に際には、USB FDD で動作するか、予めソフトウェアメーカーにご確認ください。
- 8) USB ハブをお使いの場合には、セルフパワー型のハブに、AC アダプタを取り付けてお使いください。AC アダプタが付属していない、バスパワー型のハブでは電力が不足する為に動作致しません。
- 9) USB FDD を、キーボード上の USB ポートには接続しないで下さい。
- 10) 万一、Macintosh がハングアップした場合には、Macintosh のリセットを行ってください。

3. Windows 98 および Windows 98 Second Edition

3.1. インストール方法

ご注意: NEC 社の Simplem(シンプレム) シリーズや、SONY 社の VAIO(バイオ) シリーズなどの最新 PC では、USB FDD 用のドライバが予めインストールされていますので、付属のドライバ CD-ROM を使うことなく、インストールが終了します。

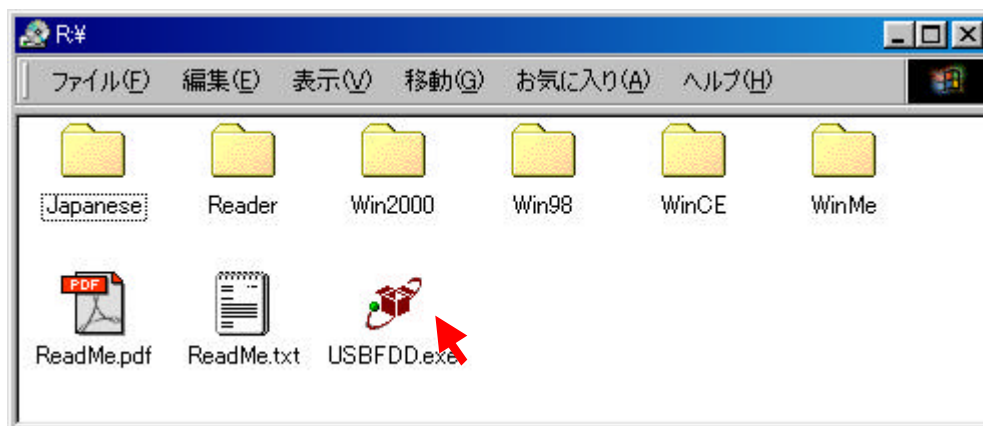
- 1) Windows 98 を起動して下さい。
- 2) お使いの PC に、USB FDD 用のドライバがプリインストールされているか確認します。USB FDD の USB ケーブルを PC に接続して下さい。

プリインストールされていた場合は、Windows に、USB FDD が認識されて、自動的に必要なドライバがインストールされます。マイコンピュータフォルダに 3.5 インチ FD(A:)が現れます。これで、インストールは終了です。

プリインストールされていなかった場合は、以下のメッセージが出ます。ドライバ CD-ROM からドライバのインストールが必要ですので、一旦 **キャンセル** をクリックして、次ページ 3) 項へお進み下さい。



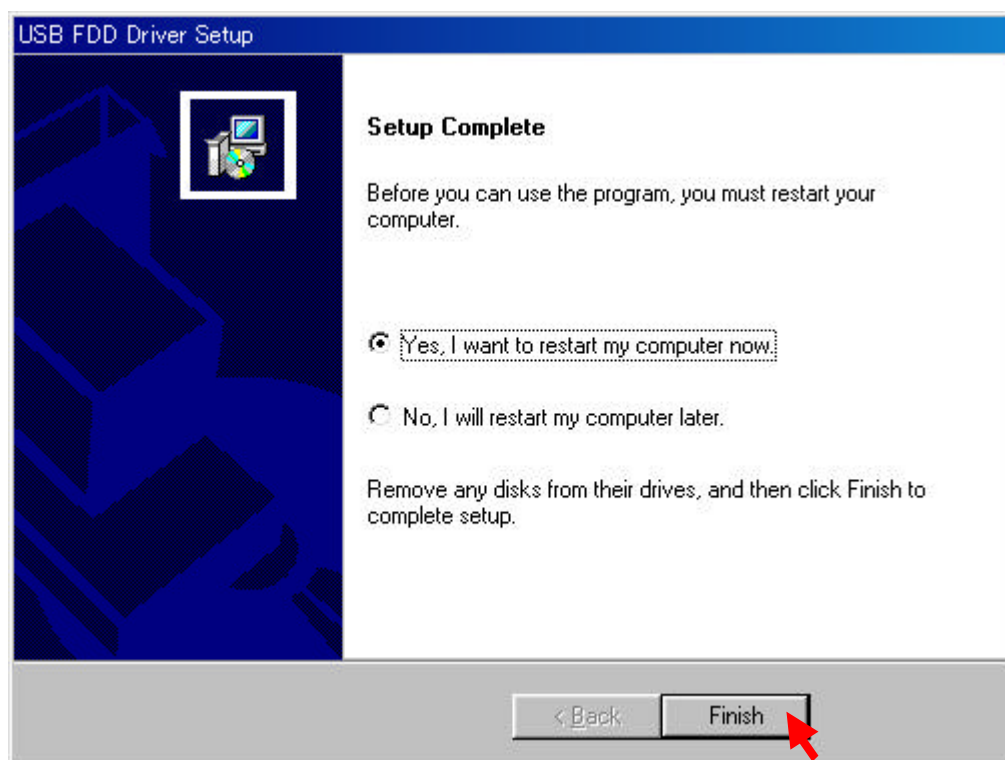
- 3) ドライバ CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブに挿入して、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて下さい。
- 4) インストーラ“USBFDD.exe”のアイコンをダブルクリックして、インストーラを起動してください。インストーラは、英語版のために、英語でメッセージが表示されます。



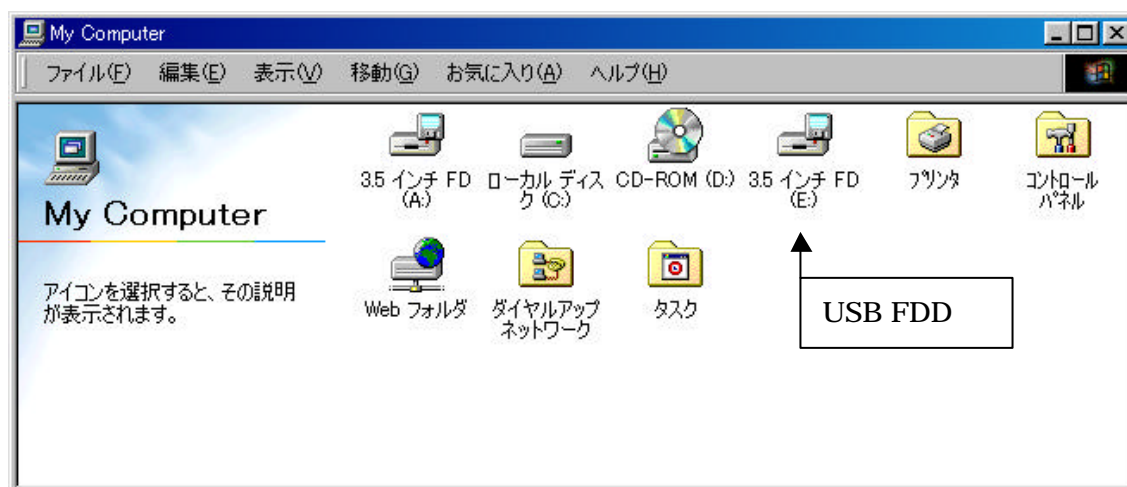
- 5) **Next >** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。必要なファイルがお使いの P C にコピーされます。



- 6) **Finish** ボタンをクリックして、インストーラを終了してください。Windows は、数秒後に、自動的に再起動します。



- 7) Windows が再起動しましたら、USB FDD の USB ケーブルを PC の USB ポートに接続して下さい。USB FDD は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに、新しく 3.5 インチ F D が追加されます。下記の例ではドライブ名は(E:)ドライブとなっています。ドライブ名(E:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。お使いの P C が、レガシーフリー P C で、内蔵 F D D のコントローラが無い場合は、USB FDD は、(A:)ドライブとなります。

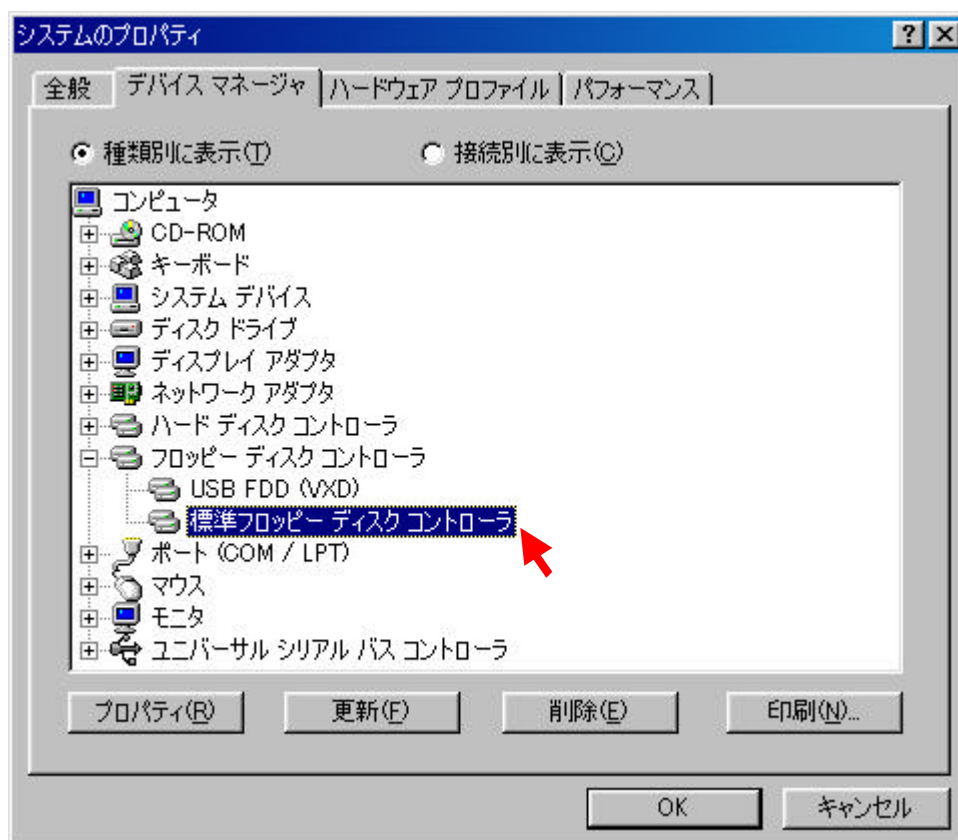


3.2. USB FDD をドライブ(A:)でお使いになる場合（オプション設定）

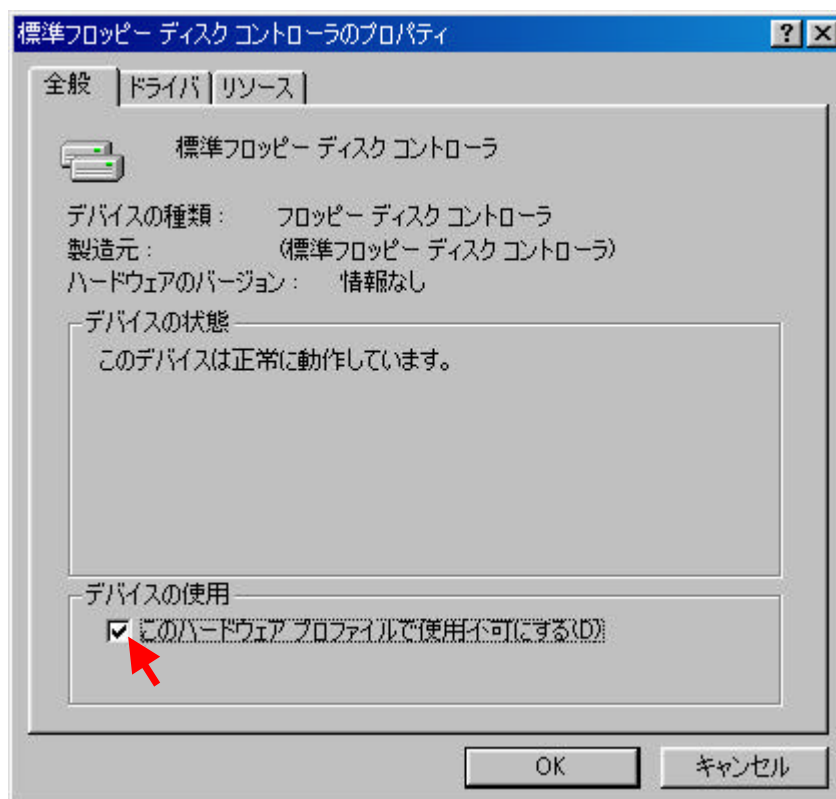
USB FDD をドライブ名(A:)でお使いになりたい場合は、標準フロッピーディスクコントローラを使用不可にします。この設定は、コンピュータに知識のある方向けのオプション設定で、お使いのPCによっては、正しく動作しない場合があります。また、USB FDD を(A:)ドライブにしますと、一部のアプリケーションで、内蔵FDDを直接操作しているもの（ウイルス監視ソフト、コピープロテクトソフトなど）の動作に不具合が出る場合があります。その場合は、元の設定に戻してください。

注意：いままで、USB FDD 以外にフロッピーディスクをお使いになっていた場合は、標準フロッピーディスクコントローラを使用不可にしますと、今までお使いになっていた、レガシーFDDは動作しなくなります。レガシーFDDをお使いになる場合は、標準フロッピーディスクコントローラを使用不可にしないで下さい。

- 1) コントロールパネル内にある、システムのアイコンをダブルクリックして開いてください。
- 2) デバイスマネージャの、フロッピーディスクコントローラの内、スタンダードフロッピーディスクコントローラをダブルクリックして、プロパティを開いてください。



- 3) このハードウェアプロファイルでの仕様不可にするにチェック ☒して、**OK**ボタンをクリックして下さい。



- 4) PC を再起動しますと、USB FDD は、ドライブ(A:)として動作します。

4. Windows Millennium Edition (Me)

4.1. インストール方法

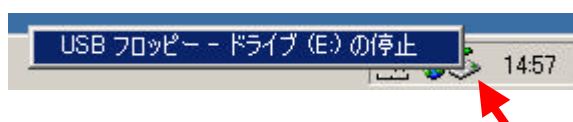
USB FDD は、Windows Me に組み込まれている Microsoft 社製の標準ドライバで動作します。従って、インストールには、製品付属のドライバ CD-ROM は使用しません。

- 1) PC を起動して、Windows Me が完全に起動するまでお待ちください。
- 2) USB FDD の USB ケーブルを、PC の USB ポートに接続して下さい。USB FDD は、Windows Me に検出されて、自動的に必要なファイルがインストールされます。
- 3) マイコンピュータフォルダを開くと、3.5 インチ F D アイコンが追加されています。下の例では、USB FDD は、ドライブ(E:)としてアクセス出来ます。お使いのPCが、レガシーフリーPCの場合は、USB FDD は、ドライブ(A:)となります。

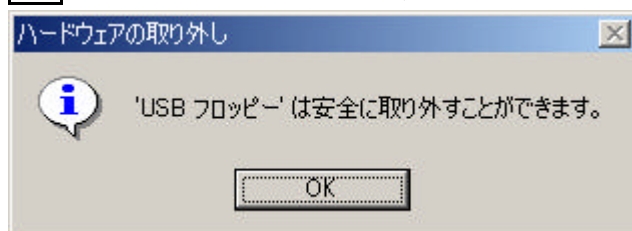


4.2. USB ケーブルの取り外し方法

- 1) ステータスバーのホットプラグアイコンをクリックすると現れる、「USB フロッピー ドライブの停止」メニューをクリックして下さい。



- 2) **OK** ボタンをクリックしてから、USB ケーブルを取り外して下さい。

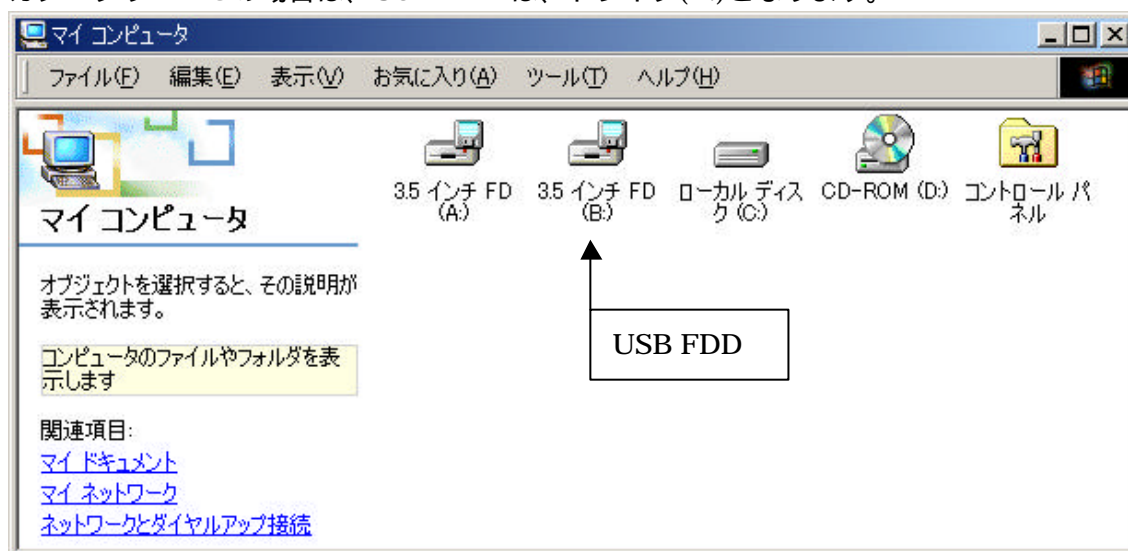


5. Windows Millennium 2000

5.1. インストール方法

USB FDD は、Windows 2000 に組み込まれている Microsoft 社製の標準ドライバで動作します。従って、インストールには、製品付属のドライバ CD-ROM は使用しません。

- 1) PC を起動して、Windows 2000 が完全に起動するまでお待ちください。
- 2) USB FDD の USB ケーブルを、PC の USB ポートに接続して下さい。USB FDD は、Windows 2000 に検出されて、自動的に必要なファイルがインストールされます。
- 3) マイコンピュータフォルダを開くと、3.5 インチ F D アイコンが追加されています。下の例では、USB FDD は、ドライブ(B:)としてアクセス出来ます。お使いのPCが、レガシーフリーPCの場合は、USB FDD は、ドライブ(A:)となります。



5.2. USB ケーブルの取り外し方法

- 4) ステータスバーの[取り外し]アイコンをクリックすると現れる、「Y-E Data USB Floppy ドライブの停止」メニューをクリックして下さい。



- 5) **OK** ボタンをクリックしてから、USB ケーブルを取り外して下さい。



6. Windows 98, Windows Me 及び Windows 2000 での制限事項

1) USB ハブ

USB FDD を、USB ハブに接続する場合は、セルフパワーハブに、AC アダプタを取り付けてご使用ください。キーボード上のUSBポートなどのバスパワーハブには接続しないようにして下さい。バスパワーハブでは、USB FDD が動作するのに必要な電力は十分ではありません。

2) 起動（ブーティング）

最新のPCの一部では、USB FDD に対応した特別な BIOS が搭載されていて、USB FDD から起動出来ますが、一般のPCでは、USB FDD から起動できません。

3) ウイルススキャンソフトウェア

一部のウイルス検出ソフトウェアは、内蔵FDDを前提にデザインされています。このようなソフトウェアを常駐させますと、USB FDD を接続すると、動作が異常に遅くなったり、不安定になったりすることがあります。問題が起きたときは、USB FDD をウイルス検索の対象から外してください。

4) スタンバイ

USB FDD は、PC99 規格のスタンバイ機能に対応しています。しかしながら、スタンバイモードで異常がある場合は、スタンバイ前に、USB FDD を取り外して下さい。

5) ベンダー製 Windows Me 用ドライバソフトについて

Windows Me では、OS に組み込まれている Microsoft 社製の標準ドライバをお使いになることをお勧めします。レガシーフリーPC以外のPCで、ドライブ(A:)としてお使いになりたい場合は、ベンダー製のドライバソフトウェアをお使いになることも可能です。

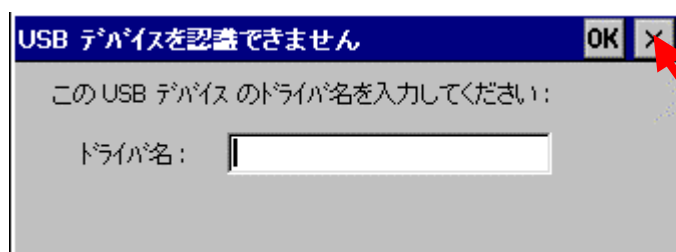
ベンダー製ドライバソフトウェアのインストール方法は、Windows 98 の場合と同じです。「3.Windows 98 および Windows 98 Second Editionの項 3」（ページ14）からを参照してインストールしてください。インストーラは、自動的に、Windows のバージョンを判定して、Windows Me 用のベンダードライバーをインストールします。

7. Windows CE

USB FDD を、ハンドヘルド PC 上でお使いになるには、USB FDD を接続する前に、ドライバソフトウェアをインストールする必要があります。

一部のハンドヘルド PC では、USB FDD 用のドライバが予めプリインストールされていることがあります。その場合は、ドライバソフトウェアのインストールを行う必要はありません。USB FDD 用のドライバがインストールされているかは、ハンドヘルド PC のマニュアルを確認ください。

ドライバがプリインストールされていない場合は、USB FDD をハンドヘルド PC に接続すると、以下の画面が出ます。**X**をクリックしてから、ドライバをインストールしてください。



ドライバのインストールには、Windows CE サービスをホスト Windows PC とハンドヘルド PC をケーブル接続して行う方法（項 7.1）と、ハンドヘルド PC から、ダイヤルアップによるインターネット接続で、ドライバソフトを、ダウンロードする方法（項7.2 23ページ）があります。

7.1. Windows CE サービスを使ったインストール方法

以下の説明では、ドライバソフトウェアのインストールは、Windows CE サービス用いて、ホストになる Windows PC とハンドヘルド PC をケーブル接続して行います。Windows CE サービスのインストール方法、ハンドヘルド PC とホスト Windows PC の接続の方法については、お使いのハンドヘルド PC の説明書をご覧ください。

- 1) ホスト Windows PC とハンドヘルド PC を接続して、ファイルの転送が行なえるように「パートナー関係」を設定してください。
- 2) USB FDD ドライバ CD-ROM を、ホスト Windows PC の CD-ROM ドライブに挿入してください。
- 3) ホスト Windows PC のマイコンピュータフォルダ内にある CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いてください。

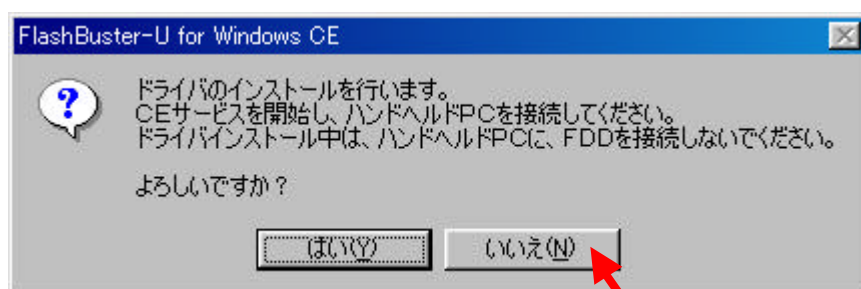
- 4) CD-ROM の WINCE フォルダをダブルクリックして開いてください。



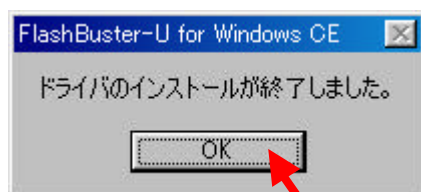
- 5) "Setup.exe"アイコンをダブルクリックして、セットアッププログラムを起動してください。



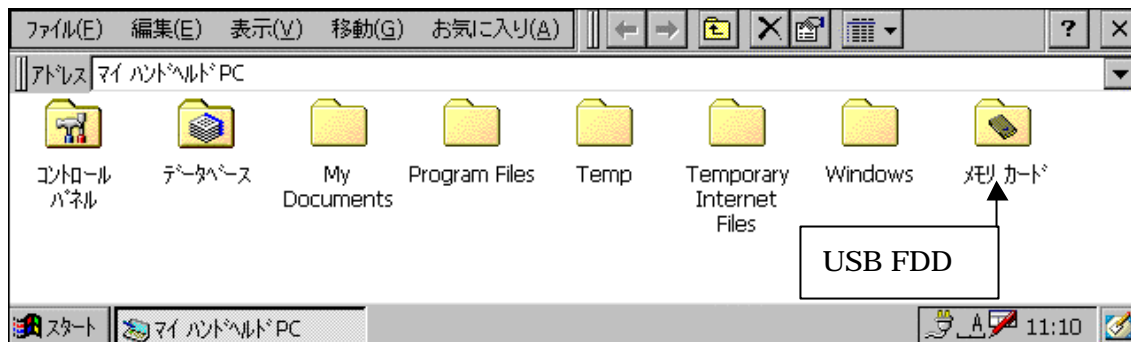
- 6) セットアッププログラムを起動すると、以下のメッセージが出ます。**はい(Y)**ボタンをクリックして、インストールを開始して下さい。



- 7) セットアッププログラムは、USB FDD のドライバソフトをハンドヘルド PC にインストールします。インストールには、数分かかりますので、そのままお待ちください。インストールが正常に終了すると、以下のメッセージが出ます。OK ボタンをクリックして、セットアッププログラムを終了してください。



- 8) USB FDD の USB ケーブルを、ハンドヘルド PC の USB ポートに接続して下さい。
- 9) USB FDD に、フォーマット済みのフロッピーディスクを挿入すると、フロッピーディスクは、マイハンドヘルド PC の中の、“メモリ カード” フォルダとしてアクセスできるようになります。



注意：“メモリカード”フォルダは、フォーマット済みのフロッピーディスクを USB FDD に挿入しないと、現れません。USB FDD を接続しただけでは、現れませんのでご注意ください。

7.2. インターネットから直接ドライバファイルをダウンロードする方法

Windows PC をお持ちでない場合でも、ドライバソフトをハンドヘルド PC にコピーしてからインストールすることが出来ます。ドライバソフトは、ハンドヘルド PC に内蔵のモデムを用いて、インターネットに接続して、ドライバファイルをダウンロードされるか、メモリカードなどを経由してドライバ CD-ROM からコピーします。ドライバソフトは、ハンドヘルド CPU のプロセッサの種類毎に異なるソフトを用います。

- 1) 最初に、お使いのハンドヘルド PC のプロセッサの種類を確認します。プロセッサの種類は、コントロールパネルから、システムのアイコンをダブルクリックして、デバイスタブをクリックすると確認できます。プロセッサの種類には、ARM、MIPS および SH4 があります。下記の例では、プロセッサの種類は、ARM です。



- 2) プロセッサの種類にあわせて、該当するドライバソフトをダウンロードするか、メモリカード経由で CD-ROM からコピーしてください。

プロセッサの種類	インターネットの URL	ドライバ CD-ROM
ARM	http://www.yedata.com/support/fbu_arm.cab	ARM フォルダ fbu_arm.cab
MIPS	http://www.yedata.com/support/fbu_mips.cab	MIPS フォルダ fbu_mips.cab
SH4	http://www.yedata.com/support/fbu_sh4.cab	SH4 フォルダ fbu_sh4.cab

- 3) ドライバファイル (c a b) を、ダブルクリックすると、インストーラが起動します。インストーラは、説明ファイル”USBFD FDD.txt “ のコピー先を確認します。そのまま OK を押してください。説明ファイルはデスクトップにコピーされますので、後でお読みください。



- 4) USB FDD を、ハンドヘルド P C に接続して、フォーマット済みのフロッピーディスクを USB FDD に挿入して下さい。USB FDD は、マイハンドヘルド P C フォルダ内のメモリカードとしてアクセスできます。

7.3. フロッピーディスクのフォーマット

ドライバソフトをインストールすると、フォーマット用のユーティリティプログラム "USBFD FMT" が Windows フォルダにコピーされます。"USBFD FMT" を起動すると、フロッピーディスクのフォーマットが出来ます。

フォーマットされていないフロッピーディスクや認識できないフォーマットのフロッピーディスクを挿入しますと、自動的に、フォーマットユーティリティが起動します。

7.4. Windows CE での制限事項

1) “メモリカード” フォルダ

Windows CE では、USB FDD は、メモリカードとして扱われます。フォーマット済みのフロッピーディスクを挿入しないと、メモリカードフォルダーは、現れないのでご注意ください。

2) アクセス速度

Windows CE2.11 では、OS のアクセス方法の制限により、フロッピーディスクのアクセス速度は、あまり速くありません。特に、大きなファイルの書き込みを行いますと、数分かかります。

3) USB ハブ

Windows CE 2.11 では、OS の制限により、USB ハブはサポートされていません。USB FDD は、直接ハンドヘルド PC の USB ポートに接続してください。

4) サスペンド

USB FDD サスペンドモードをサポートしています。しかしながら、サスペンド後に正しく動作しない時は、サスペンド前に USB ケーブルを取り外すようにしてください。

8. カラーカバーの交換方法

注意：標準ケースモデルは、カバーの交換は出来ません。

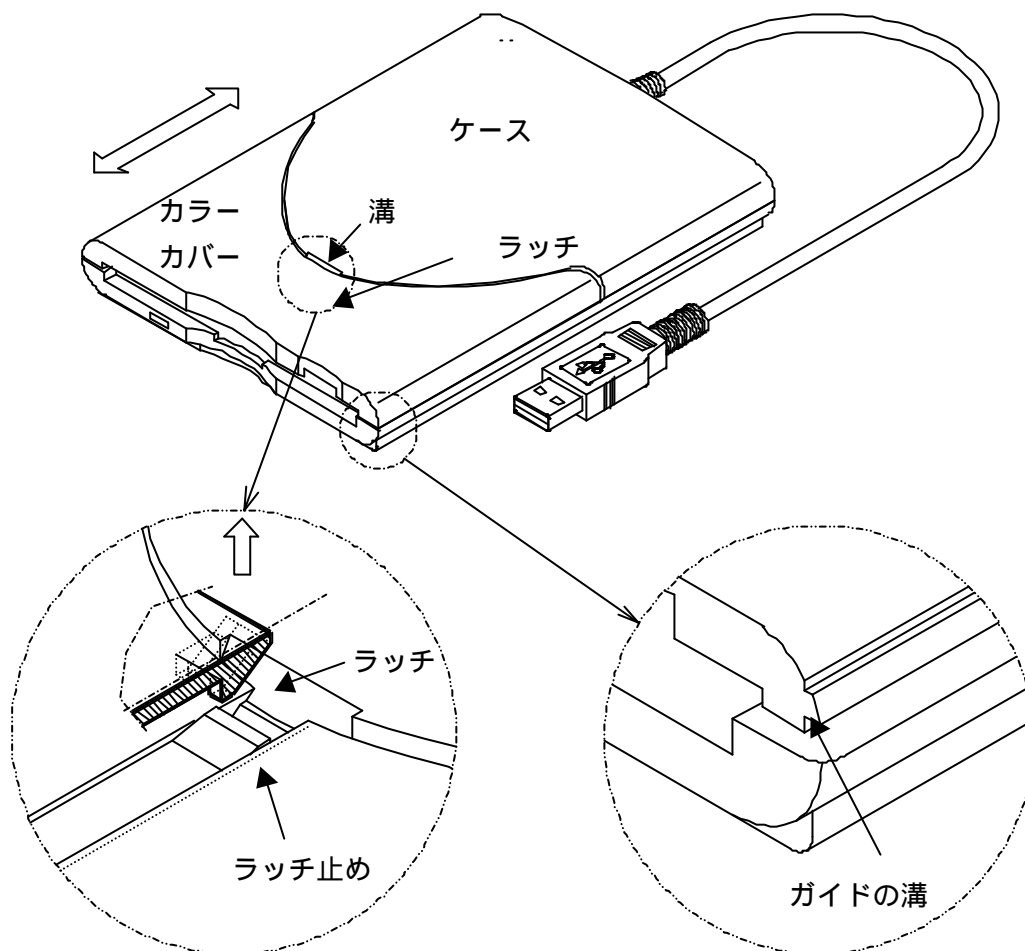


図 1

図 2

8.1. カラーカバーの取り外し方法

図 1 に示すように、カラーカバーは、ラッチでロックされています。

- 1) クリップや、マイナスドライバなどの工具を、カラーカバーとケースの間にある溝に入れて、カラーカバーのラッチをラッチ止めの上に持ち上げて下さい。
- 2) カラーカバーを、前方にスライドさせると、取り外しできます。

8.2. カラーカバーの取り付け方法

- 1) カラーカバーを、図 2 のガイド溝に入れてください。
- 2) ラッチがロックするまで、後方にカラーカバーをスライドして下さい。

9. 仕様

9.1. 使用温度範囲

動作時 : 5~40°C (41~104°F)
非動作時 : -40~60°C (-40~140°F)

9.2. 使用湿度範囲

20~80% RH 但し結露していないこと

9.3. 動作時の姿勢

水平方向で使用のこと。(フロッピー取り出しボタンが上側になること)

9.4. サポートするフロッピーディスク (3.5 inch)

ディスク	フォーマット	サポート	備考
2HD	1.44 MB PC format	Read / Write / Format	
	1.4 MB Mac format	Read / Write / Format	Macintosh Only
	1.7MB Microsoft DMF	Read Only	Windows Only
	1.25 MB DOS Format	Read / Write	Windows Only
	1.21 MB DOS Format	Read / Write	Windows Only
2DD	720 KB PC Format	Read / Write / Format	
	800 KB Mac Format	Not supported	
	640 KB DOS Format	Read / Write	Windows Only

注意

- 1) Mac Format の800K 2DD 媒体は、サポートしていません。
- 2) Windows 98 では、Version 2.11 以前 MS-DOS でフォーマットされたフロッピーディスクは、OS の仕様で、読み取れない場合があります。

10. 技術サポートの問い合わせ先

最新のドライバソフト、技術情報の公開先	http://www.yedata.co.jp/support (日本語) http://www.yedata.com/support (英語)
電子メールでの問い合わせ	mailto:support@yedat.co.jp

製品の不良、故障、欠品等については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。